

令和6年度 第4回 交野市地域公共交通会議 議 事 録

[日時] 令和7年2月21日（金） 午後3時30分～4時30分

[場所] 交野市保健福祉総合センター 4階多目的ホール

1. 交野市北部巡回バス実証運行「おりひめバス」について

2. 自家用有償旅客運送に関する報告

3. そ の 他

4. 閉 会

交野市地域公共交通会議 名簿

No	区分	氏名	所属	備考
1	学識経験者	熊谷 樹一郎	摂南大学理工学部都市環境工学科 教授	会長
2		井上 学	龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻 教授	副会長
3	地方運輸局長が 指名する者	中村 洋一	大阪運輸支局首席運輸企画専門官（輸送）	
4		釈迦戸 久夫	大阪運輸支局首席運輸企画専門官（総務企画）	
5	交通事業者	山本 英幸	京阪バス株式会社経営企画室 代表部長	欠席
6		谷川 嘉規	日本タクシー株式会社寝屋川総合営業所長	
7	労働組合	朝田 雅也	京阪バス労働組合副書記長	欠席
8		小川 敬二	日本タクシー労働組合執行委員長	
9	道路管理者	八尾 信彦	大阪府枚方土木事務所参事兼地域支援・企画課長	
10		今井 真之	交野市都市整備部道路河川課長	欠席
11	交通管理者	三谷 剛史	交野警察署交通課長	
12	市民	奥田 多喜男	松塚区長	欠席
13		玉井 八恵子	公募委員	
14		堀内 治	公募委員	
15	市長が 指名する者	井本 昌彦	大阪府都市整備部交通戦略室交通計画課課長補佐	
16		中野 貴雄	交野市危機管理室次長	
17		山埜 勝哉	交野市企画財政部次長	
18		藤原 功	交野市福祉部次長	欠席

※傍聴者：2名 報道関係者：0名

【議事内容】

1. 開会

(事務局) 本日の会議に出席委員はただいまのところ 18 名中 13 名となっている。交野市地域公共交通会議設置条例の規定により過半数以上の出席となっており、会議が成立していることを報告する。

○市長あいさつ

(市長) 本日は、地域公共交通会議（第 4 回）の開催に際し、お越しいただいた皆様に心から感謝を申し上げる。

昨年 9 月 2 日より、おりひめバスについては無事に運行開始をさせてもらっている。3 月 23 日からの京阪バス(株)の路線見直しを受け、おりひめバスについては、路線変更を進める予定としている。既存の河内磐船駅までの路線について延伸を図るのと、運賃の見直しを図り、利用促進を考えている。

また、自家用旅客運送に関しては、皆様からのご理解を賜り、何とか大新東(株)様の絶大なご尽力もあり、3 月 23 日から新しいおりひめバスとして、運行開始を予定している。その中身について、本地域公共交通会議で皆様に説明したいと思っている。

そして、今週末から交野市内の各地域として、特に影響が大きい星田 7 地区においては地区別に、また他のエリアにおいては、ゆうゆうセンター、市役所、いきいきランド等の会場を利用して、市民説明会を開催する予定である。

一方、今週、一部テレビや新聞で報道されているとおり、大阪駅の丸ビルの跡地において、新しいバス発着のターミナルが完成した。そちらの映像をみると、京阪バス(株)車両の映像が映っていた。京阪バス(株)は、地域公共交通会議や市民に対して、これまで運転士がいないことから路線を廃止せざるを得ない等という説明をしていたにも関わらず、あのような報道がされると、本市としても、市民としても、どうなっているのかと感じてしまい、私どもにも多数の問合せが来ている。

本日、京阪バス(株)に対しては、市から直接抗議文を渡す予定としている。本地域公共交通会議で京阪バスが説明したと矛盾する事態が生じていることは、市としても大変残念に思っている。

なお、市から抗議をした上で、地域での説明会を開催して、何とか市民の皆様にご迷惑とご心配をおかけすることなく、来たる 3 月 23 日に向けてスタートを切れたらと思っている。

結びとなるが、本日の地域公共交通会議を通じて、よりよい交野市の持続可能な公共交通に繋がることを期待して、簡単ではあるが、市を代表しての一言のご挨拶とする。

(事務局) それでは、以降の議事については、熊谷会長にお願いしたい。

(会長) 本日の会議は、傍聴の申し出があったので、公開・非公開についてお諮りしたい。本日の会議は公開ということでご異議はないか。

(委員全員) ～“異議なし”の声あり～

(会長) ご異議がないようですので、公開とする。傍聴者の入室を許可する。しばらくお待ち

ちください。

(傍 聴 者) 2 名が入室。

(事 務 局) 傍聴要領の遵守を願う。

(会 長) それでは、案件ごとに議事を進めていきたい。

2. 交野市北部巡回バス実証運行「おりひめバス」について

(事 務 局) 資料 1-1・1-2 により説明

(会 長) 今回、運行そのものにご尽力いただいている日本タクシー㈱からコメントいただきたい。

(委 員) 9 月 2 日から運行させていただいているが、ドライバーは弊社 5 名で担当している。5 名はすべて会社の役職者で、うち 3 名は国家資格の運行管理者の資格を有して、年 1 回の講習も受けさせている。

私もできるだけ現場に足を運んでおり、おりひめバスの助手席が空いているため、50 回以上、同乗させてもらっている。

その際、お客様の声をいろいろと聞き、非常に助かっているとのことであった。特に、週に何回も利用される方で、先ほどの説明で梅が枝の万代の特売のため、火曜日限定で乗られているが、今まではタクシーを家まで呼んで約千円、行き帰りで約 2 千円もかかっていた。ところが、おりひめバスが駅に停まってくれるおかげで、行きと帰りで 600 円になったので、非常に助かっている等という声を何度もお聞きした。

それ以外にも、体の不自由な方が手押し車を持って乗ってこられた際には、ドライバーにはその手押し車の積み下ろしを協力するようにしていることもあり、非常に助かっている等という声もお聞きしている。

説明であったように、交野市民のみならず、枚方市民によるご利用ではあるが、特に幾野 6 丁目の方は、行きは下り坂で帰りは上り坂なので、今までは家から出られなかったが、おりひめバスのおかげで最寄り駅ではないものの、郡津駅まで出られるようになって、非常に助かっている等という声も聞いている。

4 月に河内磐船駅まで延伸する実証運行を引き続き、日本タクシー㈱のほうでさせていただいているが、なかなか時間的にはタイトではあるが、安全を最優先に、特に信号の厳守を指導して運行を行っている。

乗っていただいたらわかるように、この前、市長にも乗っていただいたが、制限速度を厳守しているので、一度乗ってみてください。驚くほど、ゆっくりと走っている。枚方交野寝屋川線は 40 キロ、松塚の道路は 20 キロの制限速度で、それを厳守しながら走っている。とにかく安全を最優先にしないといけない。

信号は、黄色でストップすることを守らせている。それに、一旦停止が多い路線なので、特に梅が枝の高架下、交野警察も取り締まりをしてくださっているが、必ず 3 秒間停止をするように指導している。

そういったことをチェックするためにも、私も同乗させてもらっている。繰り返しになるが、とにかく安全を最優先に運行している。

(会 長) 非常に実際の運行のことが、安全運行にご尽力いただいている様子がよくわかるお話であった。大阪運輸支局から何かコメントはあるか。

(委員) 私どもからは共創の理念の話になるが、ご承知のとおり、移動の担い手不足の課題があり、地域公共交通のみならず、学校や病院、介護施設等の送迎についても、深刻な問題になっている。

特に、地方部では、人口減少等を理由に、これらの施設の統廃合が進んでおり、これまでのように公共交通事業者、学校、病院等の個別対応では限界があり、根本的な解決には繋がらないこともある。

そのためには、移動手段の確保・維持のために、住民の理解はもちろん、参加をしていただきながら、自治体側を中心として、色々な関係者が連携・協働していくことが重要とされている。

国土交通省だけでなく、政府の共通指針として、地域の公共交通・デザイン、連携・協働指針を掲げて、交通部局だけではなく、教育部局や介護・福祉部局等、関係する部局との連携であったり、新技術・デジタル技術、自家用有償旅客運送の活用、地域の総資源の活用・推進等をまとめさせていただいている。

今回の交野市のおりひめバスについては、交野女学院と連携して、在院生が地域との関わりを深めるとともに、地域の暮らしを支える地域公共交通の実現を目指していくものと考えている。

資料を見ていると、10 ページには、1 便あたりの利用者が 1 人を切っているところがあるため、空気を運んでいるような状態もあろうかと思っているが、利用された方の反応を見ていると、まずまずの結果と思っている。

また、日本タクシー㈱の働きかけによって、地元の方を運転士として選任されていることもお聞きしている。

皆様方が、自分たちのバスとして、実証運行だけで終わるのではなく、地域の活性化や発展に寄与する交野市の魅力を一層深めていく存在になるように、おりひめバスを育てていただければ幸いである。

以上、感想となったが、バスの維持を急ぐためには、日本タクシー㈱からもお話があったように、ドライバーの確保はもちろん、お客様の安全を守るための運行管理者、整備管理等の安全面への投資も必要となるため、維持するためには、乗っていただくしか方法はないと思っているので、3 月 23 日から運行開始になる自家用有償旅客運送についても、ぜひ乗っていただいて、維持していけるようになればと思っている。

(会長) 何か皆様からご質問はあるか。

(委員) 市民委員として発言したい。当初から予測はあったが、やはり利用人数が 1 便あたり 1 人ということで、2 ページの目的に書いてあるように、「持続可能な地域公共交通体系の実現」に向けて始まったところであるが、収支率を算出すると約 3%程度かと思う。一般的なコミュニティバスの収支率は 3 割、多くても 7 割くらいかと思っているが、この点をどう考えているのか。

これから利用人数が増えるかもしれないし、3 月 23 日から始まる新しいシステムについても大いに期待しているが、何とか収支率を上げるように進めないと、持続可能性については疑問が出てくる恐れがあるので、それについてお考えをお聞きしたい。

(事務局) 委員ご指摘のとおり、収支率で換算すると 3%強という非常に厳しい状況だと

思っている。ただ、アンケート結果等を踏まえ、地域の移動手段という意味では、かなりご好評をいただいている側面もあると思っている。

今回の収支だけではなく、そういった移動の可能性とか、必要性といった部分や運行形態やルート等も考慮しながら、実証運行を継続する中で将来の地域公共交通の考え方等の熟度を上げていきたいという考えである。

(会 長) 井上副会長、何かコメントはあるか。

(副 会 長) もともと需要があれば、路線バスが走っているわけなので、今までなかったというのは需要が低かったという点はある。

ただ、これからは本当に移動手段にお困りの方に交通サービスが届いているかどうかということについても、しっかりと見ていただきたいと思う。

利用者を増やしていくことは、とても大事なことだと思うが、本当に困っている方に移動サービスが行き届いているかどうかという評価も大事であろう。アンケート調査結果を見ていると、本当に困っている人に届いている点が伺え、評価できる。

定量的な利用促進と並行しながら、困っている人にサービスを届けるという定性的な面も明らかにしていただきたい。

できる限りのことはされてきているので、取組みは大変だと思うが、継続的に進めていただけると、次の利用に結びつくので、引き続きよろしくお願いいたします。

(委 員) 団塊世代の 75 歳以上の人が増え、2024 年問題もあるが、需要はこれからもっともっと増えてくると思う。

それに、こうしてバスが走っているということ自体が、すごく大事なことだと思うので、充実していくようにしていただきたいと思う。

繰り返しとなるが、もっと需要は増えてくると思う。今までは、自転車を走らせていたが、今後バスに頼らざるを得ない人がもっともって増えてくると思うので、ぜひよろしくお願いいたします。

(会 長) そのほか、いかがか。よろしいか。

この件については、4 月からルートが変更されて運行されるということだが、実際に運行開始されて、一定、検証結果が出てくれば、またこの会議でご報告いただいて、PDCA ではないが、持続可能なものにしていけたらと思う。

3. 自家用有償旅客運送の関する報告について

(事 務 局) 資料 2 により説明

(会 長) 本件について、皆様からご意見・ご質問をお願いしたい。

(委 員) 路線変更で河内磐船駅経由になるということで、今日も星の森から星田駅まで京阪バスに乗って、JR に乗り換えて河内磐船駅まで 1 駅乗って来たが、バス 1 本で来られるのを待ち遠しくて首を長くして待っている。ご近所で、ボランティアセンターに来られている方も、今は私市 4 丁目で降りて徒歩で来られているが、そのルートができるのが待ち遠しいという声も聞いている。

星田西のプールに行っている人も、どうなるかと思って心配していた等という声もある。たまたま立ち話をした方は、京阪タウンへ食事に誘って行っている方がおられて、その路線はなくなるので、何か方法を考えてほしい等と言われてい

た。バス路線があるということは、皆様の生活に直結している。

現役で働いておられる方とか、車に乗っておられる方は、話をしても、無関心と言うか、その程度のことか等という感じだが、実際に利用している者からすると、本当に切実な問題で、取りあえずおりひめバスが走るのはとても嬉しい。

星田山手が最初の説明会になっているので、その説明を受けて、地域の自治会の方に呼びかけようと思っているが、他人事とは思わないでほしい。

この間、市議会議員がレターに、“市がバスを走らせる、より便利で愛されるまちになるよう、みんなで育てていこう”と書かれていたが、本当にそのとおりだと思う。

愛されるまちになるよう、みんなで育てないといけないと思って、明日の説明会でも皆様に呼びかけようと思っている。

(会 長) おっしゃるとおり。

(委 員) 今回、切れ目なくということで、交野市のおりひめバスを導入に関しては、地区の委員としても感謝を申し上げたい。

私は、妙見東という山手のほうで、星田には7つの区があり、7つの区長に集まっていたいて、説明会をやってほしいとお願いした。

私も色々な所で地区の方に説明するが、お年寄りの方は8割ほどの人が理解がたい。特に、妙見東についてはルートが変わるので、説明がなかなか難しい。説明会では、地域の方にもう一度、詳しく説明しながら協力したいと思っている。

これが始まって、来年、再来年に見直しがあると思うが、前回もお願いしたことではあるが、乗車率をできたら開示していただきたい。カードが導入されてからかもしれないし、それまでも乗り合いをしていただいて、どの程度、地区で何パーセントくらいの方が乗ったり降ったりしているのか、データをフィードバックしていただきたい。

地域としても、このバスを守り育てていく決意がある。星田の山手地区では、乗車キャンペーンをこの3月にやろうと考えている。具体的には、実際にバスに乗らなくても、普段は乗用車で行かれている方も、せめて年に1回は定期券を買ってくれと思っていて、みんなで育てないといけない。将来的には、免許を返納する多が増えてくるので、そういう方のためにも、持続を確保するためにも、キャンペーンを考えている。

前々回のときにお話しさせていただいたように、収支率もどんどんと上がってくると思うが、せめて3〜4割になればいいが、本当にこんなにお金をかけて運行してもいいのかという話も中には出てくると思う。

ただ、切実にバスに頼っている方も多いので、そういった方の意見を尊重していただき、例え赤字が出ていたとしても、継続はしていただきたい。

それと同時に、昨今は色々なシステムが出てきているので、今はオンデマンド交通もあり、道路運送法第78条第3号に基づく日本型のライドシェアもある。その先に公共型のライドシェア第2号に基づくものも勉強していただいて、そのメリット・デメリットもあるが、地域によっては導入するとか、やめたときには導入するとか、ハイブリット的な考え方も必要ではないか。

妙見東でも、1丁目と5丁目ではニーズが変わってくる。高台に住んでおられ

て、坂を下りるときに命の危険を感じる方もおられて、その方にとってみれば、バス停があったり、場合によっては自宅近くまで迎えに来たりしてくれれば、本当に助かる。

経費をかけないで、効率よくなるようなシステムが今後も出てくるのではないかなと思う。

前に市長ともお話をしたことがあったが、地元のタクシー会社もあるので、そこを巻き込んでいただくか、newmo（ニューモ）みたいな新しい形態の会社も出てきているので、先導的にしてもらいたいと淡い期待を抱いている。

これからどのように動くかはわからないが、住民として切実なニーズがあるので、ぜひご検討いただきたい。

（会 長） 何か事務局からお答えすることはあるか。

（事 務 局） まずは、切れ目なく運行するために定時定路線での運行をお願いさせていただきたい。先ほどのおりひめバスのアンケート結果等も踏まえると、今のところ、予約なしで利用できるというご意見をいただき、今後、自家用有償旅客運送を行った結果等を勘案して、色々な考え方等も意識しながら議論を進めていきたいと考えている。

（会 長） これから地域公共交通計画を策定するという流れもあるようだが。

（事 務 局） はい。今のところ、地域公共交通会議を地域活性化法に基づく所掌事務の追加ということも条例の中で調整させていただきたいと考えている。

今回、自家用有償旅客運送で市を走らせる場合については、センサーを付けてODデータが採れればと考えている。そういったことも含めて、会議でご議論いただければと思う。

（会 長） 色々と市民委員からオンデマンド交通の話もしていただいたが、そういった所に計画を反映させれば、それが担保になって次の行動に結びついていく流れも出てくるので、そのあたりは少し一緒に考えていけたらいいのではないかなと思う。

IC定期券の導入は、非常に効率的かなと思うが、学生は取りにくい面があるのか。この点、井上副会長からコメントいただきたいが、まず事務局から説明をお願いしたい。

（事 務 局） 今回、緊急で入れるという面と、通学・通勤の方への移動手段の確保という部分では、定期券の導入が重要と考えている。

緊急で入れるという中で、スマートフォンアプリでの定期券の導入を進めさせていただいているが、学校によっては、中高生がスマートフォンを持ってきたはダメといった学校もあると聞いているので、そういった部分への対応を我々としては考えていかなければならない。

（副 会 長） 学校側にも、色々なご事情があるとは思いますが、社会の変化に合わせていくことも検討願いたい。移動手段の問題に関わることなので、該当する子がいるかどうかを明確にした上で、直接学校側をお願いに行くのがいちばんいいだろう。

ご高齢の方もできる限りスマートフォンの使い方を知っていただけるとよいと思う。どうしても難しいのであれば、京阪バス(株)にお金を払って委託して、おりひめバスの定期券を発行するのも一つの方法かもしれない。

その定期券も中型バスに関しては、区間制等にしないで、おりひめバス全線に

何度でも乗れるみたいにしていくなど柔軟に対応いただければと思う。

中学生・高校生の通学に関しては、保護者としても大変なので、早めに調査をお願いしたい。

(会 長) 中学生くらいからバスに乗り続けていくのは、大事な習慣になってくると思うので、そのあたりぜひご尽力いただけたら、ありがたい。そのほか、いかがか。

(委 員) 一点確認だが、路線、旅客の範囲、乗客から収集する運賃の対価というのが協議事項になっているが、前の協議会のときと内容は特に変わっていないということではよいか。

(事 務 局) はい。

(会 長) 変わっていないとのこと。そのほか、いかがか。

(副 会 長) これから運行されるにあたり、色々と急なことで大変な中、切れ目なく進めてこられたのは、とてもいいことで多くの人に共有いただきたい。

運行内容に関しては、色々と言いたいことはあるかもしれないが、切れ目がなく運行できたということで前向きにスタートしていただければと思う。

また、前よりもよくなったとイメージをみんなで持てるようなバスにしてほしいと思う。

この地域のお二人から、みんなで応援していこうというお話があったように、地域の方が自分事と思って応援できるかどうかが一番大事なことになるので、その点、とても大変なことかと思うが、ぜひ大事にしてほしい。

大阪府内ではないが、同じような急傾斜のニュータウンでバスがなくなりそうとなり、説明会には 100 人以上の住民が来られて、“どうするのか” “何とかしろ” 等ということの色々と言われて、何とか運行継続して 1 年が経ったが、利用者は減っているというのが現実である。お尻に火がついたときだけ、大声を出すけれども、実際は乗らずに、また廃止されるときには文句を言いに来ってくる。これが一番よくないパターンである。

ぜひ今回、自分事というとてもいい言葉が出てきた。地域の皆様方の声が一番大事で、使っている人たちが、“これはいい” 等と言っていただくと、みんな使っていく。

一人ひとりのお声掛けがとても影響力を持つので、ぜひがんばっていただければと思う。

おりひめバスという一つのブランドになったので、交野市らしい、新しい地域公共交通というのを、皆様にぜひアピールしていただきたい。

(会 長) 本当に自分事にして育てていくのは非常に大事な視点である。この協議会としても応援していきたいと思う。その他いかがか。

(委 員) 地域として、300 円に対して高いからもっと安くしろという話もあるが、本当におりひめバスを守り育てていくために、実際に使っている方は 500 円でもいいという人もいる。

先生がおっしゃったように、なくなりそうになると乗っていない方から、“地価が下がってしまう” 等といった声が多く挙がってくる。

本当に、日々の生活の中で病院に通わないといけないう生活スタイルが消えてしまうので、ぜひ考え方を変えていただきたい。

もう一つ、京阪バス㈱ではできなかった交野市がやるからこそできる、バスの利用促進に繋がるようなイベントを考えていただきたい。

一度乗ってみるとわかるけれども、バスに乗らない方にとって、バスは心理的抵抗が強いが、一度使ってみていただくと、なかなか便利だと思う方が多い。

妙見のサクラは結構有名なので、私市の植物園でも何かイベントをやるとか、意気込んでやるイベントに合わせて、バスの利用促進キャンペーンもやっていただいて、外出しやすい機会をつくってあげると、利用者が増えるのではないかな。私どもも知恵を出すので、一緒にやっていきたいと思う。

(会 長) 確かに、おりひめバスは一つのブランドになったのではないかなと思う。今回も実証運行で、貨客混載としてプレゼントと一緒に運ぶこともおりひめバスだからこそできることもあった。

ぜひそのあたりも含めて、これから皆様で育てていければと思っている。

そのほか、いかがでしょうか。特になければ、3月23日の運行開始に向けて、手続きを進めていただけたらと思う。

3. その他

(会 長) その他について、事務局から何かあれば、お願いしたい。

(事 務 局) 特にありません。

(会 長) 特にないようなので、以上で本日の議事について、すべて終了とします。

本日はご参集いただき、慎重なる審議、また貴重なご意見と決意表明も頂き、心から感謝します。

また引き続きよろしくお願いします。本日はこれで終了といたします。

以上